



内閣府

～美ら島の未来を拓く～沖縄総合事務局 定例記者会見（１月）

日時：令和３年１月１９日（火）０９：３０～

場所：沖縄総合事務局２Ｆ 共用会議室 DE

【発表事項】

１．「沖縄総合観光施策推進室」の発足について

＜定例記者会見終了後、以下のとおり辞令交付式及び看板掛け式を行います。＞

- ・沖縄総合観光施策推進室辞令交付式（時間：１０：４５～１１：００／場所：５Ｆ 海技試験室）
- ・沖縄総合観光施策推進室看板掛け式（時間：１１：００～１１：１０／場所：５Ｆ 運輸部企画室前）

２．持続可能な海洋観光に関するセミナーの開催について

３．沖縄の海事産業で働く女性の座談会（わったーフネージョゆんたく会）を開催します！

４．「沖縄子どもの未来県民会議」への防災備蓄食提供について

出席者

沖縄総合事務局

局 長

吉 住 啓 作

次 長

前 津 盛 和

次 長

岩 田 美 幸

総 務 部 長

上 村 秀 紀

運 輸 部 長

米 山 茂

総務部防災・危機管理課長

宮 城 一 正



内閣府

令和3年1月19日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

「沖縄総合観光施策推進室」の発足について

～沖縄県内の市町村等からのニーズを的確に吸い上げ、観光施策に反映～

令和3年1月19日付けで、沖縄総合事務局において新たに「沖縄総合観光施策推進室」を発足させます。

観光は沖縄の基幹産業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けており、観光の再生を図ることが沖縄全体にとって喫緊の課題となっています。このような中で、沖縄総合事務局としても、沖縄の市町村等からの観光に関するニーズを的確に吸い上げ、沖縄県内における国の部課室横断的な連携を推進することにより、観光施策の企画・立案・調整を積極的に行う体制を強化するため、令和3年1月19日付けで、沖縄総合事務局において新たに「沖縄総合観光施策推進室」を発足させます。

沖縄総合観光施策推進室では、令和2年4月沖縄総合事務局に設置された沖縄市町村施策支援室と連携を図りつつ、沖縄観光の「量から質への転換」、「質の高い持続可能な観光の推進」等に向けて積極的に取り組んでまいります。

なお、感染症対策を講じた上で、以下のとおり発足式を開催します。

1 日 時 令和3年1月19日（火）午前9時30分～午前11時10分

2 場 所 内閣府沖縄総合事務局

（①2階D・E会議室、②5階海技試験室、③5階運輸部企画室入口）

那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館

3 内 容	午前 9時30分～	概要説明	場所：①（定例記者会見内）
	午前10時45分～	辞令交付	場所：②
	午前11時00分～	看板かけ	場所：③

4 プレス関係 公開、カメラ撮り可

5 新型コロナウイルス感染症対策

- ・当日に風邪の症状を自覚された場合、37.5度以上の発熱がある場合、お体に強いだるさや息苦しさの症状が見られる場合は、出席をご遠慮下さい。
- ・式場に入られる際は、入口付近に設置しているアルコール消毒剤で除菌をしてください。
- ・取材中におけるマスクの着用、除菌シートによる消毒などについては、各自で対応をお願いいたします。

○沖縄総合観光施策推進室

(1) 体制 部長クラスの室長、課長クラスのチーム長はじめ部課室横断的に20名程度の職員を配置（※ いずれも兼務）

(2) 業務

- ・ 沖縄県内における国の部課室横断的な観光施策の企画及び立案並びに調整に關すること。
- ・ 沖縄県内における市町村等からの観光に係る要望等の整理及び分析並びに対応に關すること。

【本件問い合わせ先】

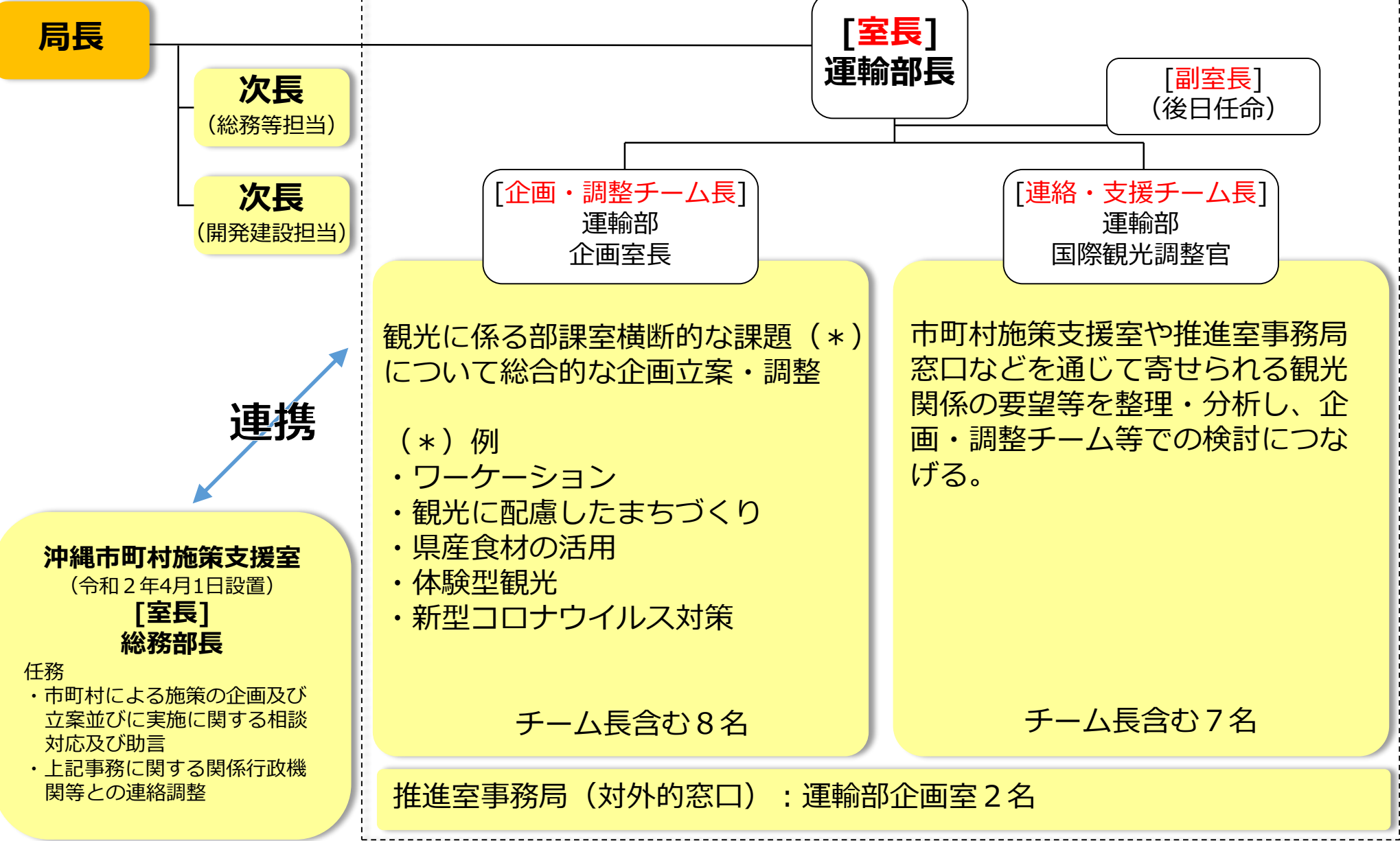
内閣府沖縄総合事務局

運輸部企画室・国際観光調整官

齋藤、野原

電 話：098-866-1812

FAX：098-860-2369



※いずれの職員も併任で総員19名



令和3年1月19日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

持続可能な海洋観光に関するセミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けている沖縄観光の再生を図るに当たり、環境への配慮等SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を意識した、持続可能な観光の推進が重要な課題となります。海を主要な観光資源とする沖縄においては、特に、SDGs 14「海の豊かさを守ろう」を意識した、持続可能な海洋観光に向けた取組が求められています。

一方、近年、沖縄の周辺海域では海水温の上昇によるサンゴの白化現象が広範囲で生じるなど、海洋環境が危機的な状況に直面しています。これに対し、一部の地域では、サンゴ養殖等によるサンゴ礁の再生・保全を試みる取組が進められており、更にこれを新たな観光資源として活かそうという動きも見られます。

このような取組を促進し、沖縄観光の再生における優良モデルとしてクローズアップするとともに、全国的・世界的にも先進的な海洋観光モデルとして磨き上げていくことを目指し、県内外の関係者が集う「持続可能な海洋観光に関するセミナー」を開催します。

【開催概要】

1. 開催日時：令和3年2月10日（水）14：00～16：00

開催場所：沖縄県立博物館・美術館（講堂）※

2. 内容（調整中）

○取組事例の発表

- ①「3935プロジェクトの取り組みについて」（3935プロジェクト委員会）
- ②「サンゴの村宣言について」（恩納村）
- ③「有性生殖によるサンゴ再生と観光について（仮）」（日本トランスオーシャン航空）
- ④「玉川学園サンゴ研究部の取組と軌跡について」（玉川学園）

○意見交換

3. 会場定員：約80名程度（事前申込制）

※CISCOの「Webex」によるWeb配信も致します（上限80回線）

できるだけ多くの方にご参加いただけるよう、参加機関毎に1回線（PC1台）のみとさせていただきます。

4. 参加申込：別紙「参加申込書」に必要事項を記載のうえ、令和3年2月5日（金）までに、
E-m a i l またはF A Xにて申込ください。

E-m a i l：unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp

（※「★」を「@」に置き換えてください。）

F A X 番号：098-860-2369

5. 費用：無料

6. 新型コロナウイルス感染症対策

＜会場参加者へのお願い＞

- ・当日はマスクの持参および着用をお願いいたします。
- ・受付での検温および、入場時の手の消毒にご協力願います。
- ・発熱、咳、強いだるさ、息苦しさ等体調不良のある方は会場参加を御遠慮ください。
- ・体調不良および検温にて37.5℃以上の方、新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、2週間以内に海外渡航歴のある方の入場はお断りさせていただきます。

【お問合せ先】

沖縄総合事務局運輸部企画室 上間、仲村

TEL：098-866-1812

沖縄総合事務局 運輸部 企画室 あて
 E-mail : unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp
 (※「★」を「@」に置き換えてください。)
 FAX番号 : 098-860-2369

持続可能な海洋観光に関するセミナーの開催について

参加申込書

1. お申込み代表者をご記載ください。

会社名 [必須]	
所属部署・役職 [必須]	
参加代表者名 [必須]	
ご連絡先 [必須]	TEL :
Web参加の場合	E-mail :

2. お申込み代表者以外の参加者をご記載ください（ご来場いただく方）

参加者氏名（上記の方以外）	所属部署・役職

※ご記載の情報に誤りが無いことをご確認の上、E-mail 又は FAX にてお申し込みください。

※ご提供いただいた情報は、本セミナー実施の目的以外には一切使用しません。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保健所など公共機関から要請を受けた場合は、参加申し込み時にいただいた個人情報を提供させていただきますのでご了承ください。



内閣府

日時、場所等が変更になる可能性がありますので、詳細につきましては、以下の問合せ先にご連絡をお願い致します。

令和3年1月19日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

沖縄の海事産業で働く女性の座談会 **(わったーフネージョゆんたく会)を開催します！**

沖縄県は四面を海に囲まれ、物資輸送の多くを海上輸送に依存しており、安定的な海上輸送を確保するためにも人材の確保育成が必要不可欠となっております。

しかしながら、海上輸送を支える業務は多岐にわたりますが、女性が占める割合はまだまだ低い状況であり、海事産業における女性の活躍を推進するためにも、取り組みを強化していかなければなりません。

沖縄総合事務局では、沖縄管内で初めて「沖縄の海事産業で働く女性」が集う場として、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら「わったーフネージョゆんたく会」を開催します。

この座談会では、海で働くことの魅力や課題、仕事に対するやりがいや抱える悩みなど話し合ってもらい、フネージョの活躍を発信することで、海事産業に携わるきっかけづくりを支援していきます。

記

1. 日 時：令和3年2月10日（水）14：00～15：00
2. 場 所：沖縄総合事務局運輸部 5階 聴聞室兼会議室
3. 参 加 者：琉球海運株式会社、有限会社ウエストマリン、有限会社沖縄マリン
沖縄県立沖縄水産高等学校、第十一管区海上保安本部
4. 議 題：海事産業で働く魅力や課題、やりがいについて
女性が働きやすい環境や取り組みについて

※フネージョ…船員や造船・船用工業など海事分野で働く女性を幅広く象徴する造語。イタリア語の「アダージョ」（「くつろぐ」、「ゆっくりと」等の意）の語感を込め、母なる大洋を船舶が優雅にゆっくりと航行する姿を想像させ、職場を寛がせるイメージ。

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局 運輸部 船舶船員課

担当者名 玉城・安慶田

TEL：098-866-1838（直通）

FAX：098-860-2236



輝け！フネージョ★ ～海事産業で働く女性応援プロジェクト！～

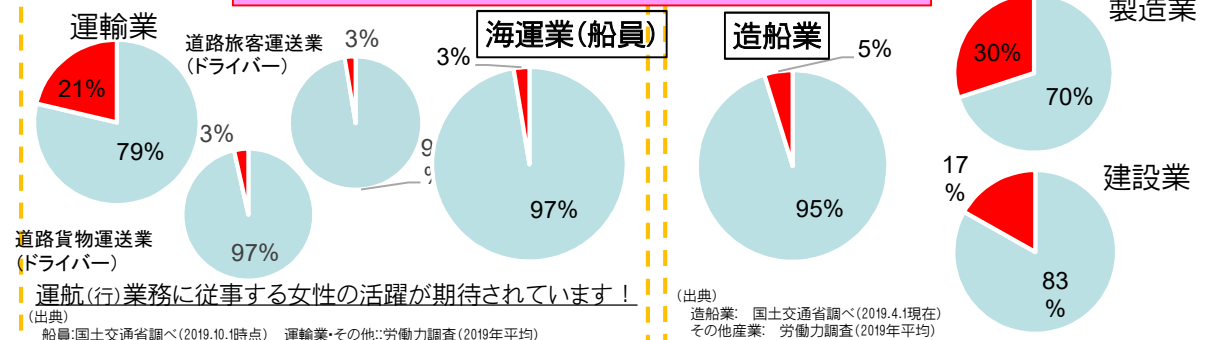
- 「働き方改革」の一環として、あらゆる分野における女性の活躍を目指した女性が働きやすい魅力ある職場づくりが、オール・ジャパンで進められています。
- 船の運航や造船、舶用品製造などは、「男性中心の職場」、「身体的負担の大きい作業が多い」等のイメージが定着しているからか、他産業に比べて女性の活躍が少ない産業です。
- しかしながら、最近は、福利厚生充実や就労環境、施設改善など事業者の前向きな取り組みにより少しずつ女性就労者は増えています。

海事産業のイメージや疑問点

- ・男性並みの体力が必要なんじゃないの…！
- ・更衣室や休憩室は綺麗なかな…？
- ・女性用の船内施設や女子寮はあるのかな…？
- ・結婚や出産しても働き続けられるの…？
- ・実際に働いている女性の声が聞いてみたい…！

安心してください！
具体的な取り組みや先輩の声を紹介します

他産業に比べるとまだまだ女性の力が必要な業界です！



海事産業における女性活躍推進の取組事例集

「輝け！フネージョ★」プロジェクト

国土交通省は、海事業界の取り組みや先輩女性の声を広く紹介する「海事産業における女性活躍推進の取組事例集」を作成し、国土交通省ホームページで公表！

海事業界への就職を検討する貴女！ 女性にとって魅力ある職場づくりに悩む経営者の皆さん！ 是非、取組事例集を手にとって下さい！

経営者の皆さん！ 本事例集に貴社の取り組みを掲載しませんか？

～定期更新にあわせて追加掲載を行えます！

～所属団体や最寄りの運輸局にお問い合わせ下さい。



「沖縄子どもの未来県民会議」への防災備蓄食提供について

沖縄総合事務局では災害時において、災害応急対策業務を実施するために必要な食料や、飲料水等（防災備蓄食料）を備蓄しています。

これまで、食品ロスが発生しないよう賞味期限間近に迫った防災備蓄食料については防災訓練や防災啓発イベントなどで配布し、有効活用を図っているところです。

今回、コロナ禍で防災啓発イベント等が中止となったことからその一部の防災備蓄食料を「沖縄子どもの未来県民会議」に提供することとしました。

1. 提供備蓄食

- ・ 備蓄食 144食
- ・ 缶パン 720缶



2. 提供日

- ・ 令和3年1月25日（月）

【問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局
総務部防災・危機管理課
課長 宮城 一正

TEL：098-866-0115（直通）

FAX：098-860-1000